

報道関係者各位
プレスリリース

2011年6月6日



観賞魚に「人を癒す」効果！

ストレス社会に観賞魚飼育を提案

観賞魚用品1位のジェックス株式会社(大阪府東大阪市、代表取締役社長 五味宏樹)は、観賞魚が生理的に人に与える「癒しの効果」が明らかになった、と発表した。

金魚や熱帯魚など身近なペットとして古くから親しまれている観賞魚は、一般的に「癒される」と言われてきた。このたび、国立大学法人岐阜大学とジェックス株式会社を中心とする研究チームは、この観賞魚が人間に与える効果について心理学・生理学的な観点から実験を行った。実験では30名の被験者に「水槽のある空間」と「水槽のない空間」のいずれかにおいて15分間、英文のタイピングにより意図的にストレスを与えるVDT作業と10分の休憩をしてもらい、その間の心理的・生理的な反応を心拍変動と唾液アミラーゼ(ストレス指標酵素)、質問紙調査によって測定した。

結果、観賞魚を眺める時間が長いほど生理的にリラックスしている事が心拍変動より明らかになった。また、唾液アミラーゼと質問紙調査の結果から、観賞魚のいる部屋では作業によるストレスが緩和され、くつろぎが得られることが明らかになった。

「観賞魚を見ていると癒される」との認識は多くの人にあるが、実際に生理的な効果を実証した例は少なく、ストレス社会と言われる現代の日本においては「癒し」に関する実証効果は注目されそうだ。

「このやさしさを人と社会へ」というスローガンを掲げる同社としてはこの実証効果を公表することで、観賞魚飼育で多くの人が癒され、やさしさ溢れる社会づくりに貢献したいとしている。

今後も研究チームは子供、高齢者への観賞魚の効果について検証を続ける。

尚、本件に関しては観賞魚関連業界団体である、日本観賞魚振興組合も同啓蒙を行っている。

■ ジェックス株式会社

【本件に関するお問合せ先】

アクアリウムの効果研究チーム 担当：吉田恵史郎

eMail:yoshida@gex-fp.co.jp

TEL 072-966-0058